

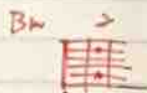
# 初夏のワルツ

Bm 5 7 0 Bm 5 7 0

0 7 Bm 0 5 7 Bm 0

若葉の緑まじしくて

5 7 0 Bm 5 F#m Bm  
ひとよみ深く息づいている



0 Bm 0 5 5 7  
光は若葉にそれぞれ

7 5 7 0  
音符のように降り注いでいる

\* 0 5  
静かなワルツを踊る

7 0  
木の枝たくさしくついている

0 5  
足元その影映す

7 0 7  
緑の妖精たち

0 5 7  
胸の奥の古い記憶さえ

0 5 7 0  
ここに触れると明るくなる

\*\*

初夏の光が真っ直ぐに

風と共に若葉めがけ

光が若葉に当たると

跳ね返して裏側キラリと

やさしくステップ踏んで

木の枝少しだけ揺らす

季節のリズムを描く

緑の妖精たち

色をなくした古い記憶さえ

ここに触れると取り戻す

\*~\*\*

# やさしい雨

Em Am D Em Em Am D Em

朝の道で 静かな雨

薄い光に 白く光ってる

月曜日の 二れから始まる Am Em

期待と不安抱えて

雨粒 風に流されてくる

ひんやり伝わる傘持つ手に

消えないで まだ残ってる Am Em

胸の奥 洗い流すように

やさしい雨 やつくりと

かたかな音で ささやいてる

「今日もあなたは そのままでいい」

踏み出す 足音に重なる

Em Am D Em Em Am D Em

舗道 流れる 水の筋が

揺れる心 映し出してる

新生活の 慣れが 春先 Am Em

期待と不安抱えて

やさしい雨 少しずつ

よくなる気配 ささやいてる

「確かな 未来 向かっている」

踏み出す 足元は 一歩ずつ

Em D C B7 Em D C B7

「今日もあなたは そのままでいい」

踏み出す 足音に重なる

Em Am D Em Em Am D Em

## 風信子

0 7 Bn 5 0 7 Bn 5

0 7 Bn F#m  
いつの日か 知らない間に

f 0 f 7  
花びらたくさし しっかりと

0 7 Bn F#m  
庭の隅 庭園灯の前

f 0 f 7 0  
足元 いろどり 明るく

Bn 0 f 5 7 0 4  
気にしなげれば 気づかないほど

Bn 0 f 7 0  
背丈も低く 自立出来ない

0 7 4 Bn  
誰かに 見せるのでなく

7 0 f 7  
ほめられるためでもない

0 7 4 Bn  
ただ 今日と いう日を

7 0 4 7 0  
まっすぐに 生きてゆくために

風信子 静かに咲く

花びら 模様のよう しっかりと

高い木 揺れる葉の下で

少しも 動かない 強さで

土の下 拾い集めてきた あたたかさ

花に変えてゆく

誰かに 媚びるのではなく

認められるためでもない

ただ 確かに やさしく

とっと思えるために

### シームレス

En D C D En D C D En  
その一筋の光があるおかげで

En D Bn D En  
夜と朝を分けあいだに

En D Bn D  
まだ冷たい影ひびいてる

Am D D G En D Bn D En  
息ひそめた光 暗闇の端に寄り添った子

En D Bn D En  
忘れたはずの痛みが

En D Bn D  
ゆっくりと目を覚ましてきては

Am D D G  
わけのわからぬ雪が

En D Bn D En  
胸の奥へとと落ちてゆく

G D D G  
やがて影は闇の中で少し柔らかくなって

G Am D G  
境目もわからぬまま静かに溶けてゆく

G D D G  
やさかな光が一本だけ呼びかけることもなく

G Am D G  
照らしてくれることもなく消えそうな細さで

En D C D En D C D En  
その一筋の光があるおかげで

どこから始まり終わるのか

知るすべもなくなってきたら

悲しみと偽善が

ゆっくり溶け合って一つになってゆく

やがて影は闇の中で少し柔らかくなって

境目もわからぬまま静かに溶けてゆく

やさかな光が一本だけ呼びかけることもなく

照らしてくれることもなく消えそうな細さで

C G Am D G C G Am D G  
Woo

深い影の裂け目の中 さわかれは消えそうな

細い光がサッと照らし静かに流れてゆく

それは儚く残しなから折れない心で宿し

と語りかけてくるように確かに押し返す

その一筋の光があるおかげで

まだ歩いてゆける ゆっくりゆけばいい

Capo. 6. 1-2ル (Am)  
Capo. 1 オ-7-Gm

DFM

また動き始める

01 > 0 5 10 2 > 0 5 10 2  
Am Day Day G G2 Cmaj7 Em Am Day Day G G2 Cmaj7 Em

> 0 5 10 2  
Am Day Day G G2 Cmaj7 Em  
じいちゃんにため息出したことだろう

0 > 0 >  
Day Am Day Am  
立ち止まり振り向き動きも止まる

> 0 5 10 2  
Am Day G G2 Cmaj7 Em  
疲れたバに体もこわけり

0 > 0 >  
Day Am Day Am  
自分らしくいたいかな... 無理かたまたま

10 > 0 5 10 5  
C Am Day G C G  
少し休むと雲を取り直して

10 > 0 5 10  
C Am Day G C G  
自分の心に気付きを感じて

1-2ル オ-7-Gm

どうでもいいこと 考えてしま...

立ち止まって仕方ない また動き始める

演じてばかりか 疲れる原因

そんなことするよりも 素直であつた...

時には何もかも 全て消去して

新たな生活も いいかもしれない...

G L

<sup>G Bm D G D G</sup>  
見下ろす湖面に 潜む静けさ

<sup>Am D7 G Em Am C G</sup>  
揺れまわらないほど 重たい青色

<sup>G D7 G Am D G</sup>  
その昔の村の面影が

<sup>G D G Am D G</sup>  
水の底から へと湧き上がってくる

<sup>Em D C D Am G C G Am G D G</sup>  
まはたきも忘れて 声もここでは潜めて

<sup>Em D C</sup>  
残った自然の山の景色

<sup>D Em C Bm</sup>  
沈んだ土の静かな湖面



<sup>C Am Em Bm D F#dim Em</sup>  
今ここで 同じ呼吸で 守られている

深い谷間に 一つの静けさ

風に吹かれても 動かない青色

閉じ込められた昔の人の笑い声

水の底から へと湧き上がってくる

あなたの胸の中 声もここに聞こえて

堰きとめられた 悲しみはいつまでなく

へと抱きしめられている 原野も

今ここで 同じ形で たたみだしている

何のために歌うのか

〇 5̣ Bn 5̣ 〇   
 D E<sup>b</sup> Bn G D   
 〇 D 7̣ A Bn 5̣ G   
 胸の奥のまだ出てこない   
 大切な想いにふれる   
 〇 D 7̣ A Bn 5̣ G   
 今日もしも音も出せない   
 〇 D 7̣ A 5̣ G 〇 D   
 声も出せないところで



〇 Bn F#m 5̣ 5̣ 5̣ 7̣   
 D Bn F#m G F#m G A A7   
 誰かの片隅でも 微かなあかりに   
 〇 D Bn 5̣ G 5̣ F#m   
 それだけでも歌を作る   
 7̣ A A7 〇 D D   
 意味わかなくて

〇 D   
 ★ 歌を作っていくのは   
 Bn Bn   
 強くなるためではなく   
 5̣ G 7̣ A   
 弱さ抱いて歩くためのようが気がする   
 〇 D   
 としていつの日にか   
 Bn Bn 5̣ G   
 悲しくなれたら記憶も   
 7̣ A 〇 D   
 綺麗なものにするためのようが気がする

★★

〇 5̣ Bn 5̣ 〇 5̣ Bn 5̣ 〇   
 D E<sup>b</sup> Bn G D E<sup>b</sup> Bn G D   
 〇 D 7̣ A Bn 5̣ G   
 ビルの奥の防音室で   
 〇 D 7̣ A 5̣ G 〇 D   
 一人で声も張り上げる   
 〇 D 7̣ A Bn Bn 5̣ G   
 今日もしもかな時間の中で   
 〇 D 7̣ A 5̣ G 〇 D   
 たどいた道に思い切り

〇 Bn F#m 5̣ 5̣ 5̣ 7̣   
 D Bn F#m G E<sup>b</sup> G A A7   
 動かない空気の中で こぼれてゆく声   
 〇 D Bn 5̣ G 5̣ E<sup>b</sup>   
 それだけでも歌を歌う   
 7̣ A A7 〇 D   
 喜びを知る

〇 D Bn Bn   
 歌を歌っていくのは 強くなるためではなく   
 5̣ G 7̣ A   
 弱さ抱いて歩くためのようが気がする   
 〇 D Bn Bn 5̣ G   
 としていつの日にか 悲しくなれたら記憶も   
 7̣ A 〇 D   
 綺麗なものにするためのようが気がする   
 7̣ A (hit ~ a tempo)   
 ★ ~ ★★ しりかえし